

普及活動情勢報告（令和5年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

いの町吾北地域のユズ園地の継承に向けて ～JA高知県コスモス柚子部会役員会でユズ園地の継承について検討～



1月18日、JA高知県コスモス柚子部会が役員会を開催し、役員5人が参加しました。R3年に策定した果樹産地構造改革計画に、担い手への園地集積・集約化が位置づけられていることから、農業改良普及課は園地の情報収集や継承の必要性について説明しました。

役員からは「高齢化で放棄園が出てきており、園地情報を早い段階でつかんでいくことが重要」等の声が聞かれ、まずは上八川地区から役員と関係機関で現地を確認することになりました。

農業改良普及課は、生産者や関係機関と連携しながら、ユズの園地を意欲ある生産者等に継承できるよう支援していきます。

吾北地域での高品質なニラ苗生産のために ～いの町農業公社でニラの育苗研修会を実施～



1月13日、いの町農業公社で、公社職員2人を対象に篤農家の協力のもとニラの育苗研修会を実施しました。農業改良普及課からは、昨年度のハウス内温度推移や、内張・外張等の開閉について指導しました。篤農家からは、「雑草がはびこると定植の際には場に雑草の種子を持ち込むため除草を徹底すること」、「ハウス内の大型トンネルはできる限り開くことで軟弱徒長を防ぎ、葉先焼けが起こりにくくなる」等の有益な情報を共有していただきました。

公社の職員からは「ハウス内が何度以上あれば大型トンネルを開いてもよいのか」、「かん水はどのタイミングでやればよいのか」等の質問があり、有意義な研修会となりました。

農業改良普及課は、今後も高品質なニラ苗が生産できるよう、引き続き支援をしていきます。

いの町ふれあいの里柳野加工所開設に向けて ～ふれあいの里柳野加工運営検討会を開催～



12月12日、ふれあいの里柳野の役員等7人が参加して、2月に開設される加工所の運営検討会が開催されました。農業改良普及課は、加工所を運営していくのに、検討の必要な事項を提案・説明し、営業許可申請にあたっての代表者や加工所使用料等が話し合われました。

役員からは、「使用料を安くして、たくさんの人に活用して欲しい」、「開設時には、利用者に対して衛生管理の研修会が必要」等の意見が出ました。

農業改良普及課は、2月の加工所開設に向けて関係機関と連携しながら、支援していきます。

農薬ラベルの確認と散布履歴の記帳で農薬事故を防ぎましょう ～イチゴ現地検討会で農薬の適正使用を呼びかけ～



1月12日、JA高知県仁淀川地区土佐市イチゴ部会が現地検討会を開催し、7人が参加しました。

生産者は電照時間や追肥等の違いが生育や着果へ与える影響を確認していました。

農業改良普及課からは、農薬ラベルの登録内容の確認や散布履歴の記帳による成分毎の総使用回数の確認等、農薬の適正使用について説明しました。

参加者は、使用回数に特に注意が必要となる複数の農薬成分を含む農薬名を確認して、適正使用への意識を高めていました。

農業改良普及課は、今後も農薬事故防止に向けて適正使用を推進していきます。